

# 第3四半期 決算説明資料(連結) (2014年6月期)

2014年5月14日  
株式会社 アルバック

## ◆将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ(FPD)・半導体・太陽電池・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

## ◆本資料における表示方法について

(特段の記載がない限り、数値はすべて連結ベースです)

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現：

3Q(累計)：第3四半期連結累計期間

3Q : 第3四半期連結会計期間

# 2014/6期3Q(累計)実績

## 2014/6期3Q(累計)業績

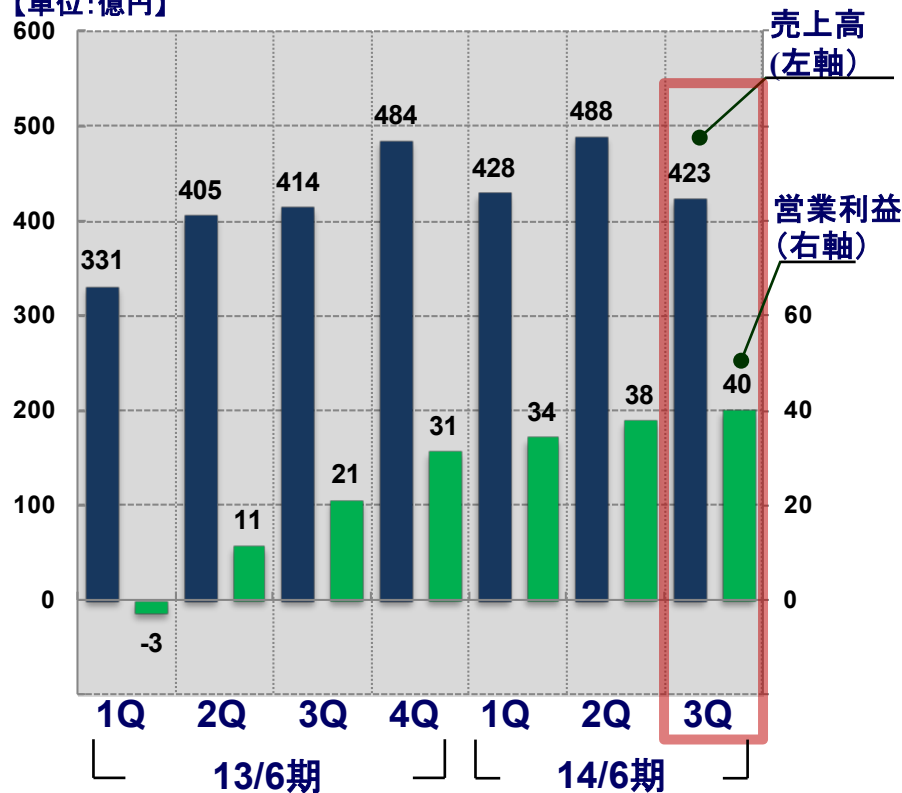
受注高は、1,257億円(前年同期比1%増)、売上高は、1,339億円(同17%増)となり、この売上高増加を主因に営業利益は、112億円(同276%増)、経常利益は123億円(同355%増)となった。また、当期純利益は、97億円を計上した。

【単位:億円】

	1Q	2Q	2Q (累計)	3Q	3Q (累計)	2013/6期 3Q(累計)	前年同期比 (増減率)
受注高	374	447	821	436	1,257	1,249	1%
受注残高	670	—	627	—	635	778	—
売上高	428	488	916	423	1,339	1,150	17%
売上総利益	106	119	225	113	339	264	28%
率	24.8%	24.5%	24.6%	26.7%	25.3%	22.9%	
販管費	72	82	153	73	226	234	-3%
営業利益	34	38	72	40	112	30	276%
率	8.0%	7.8%	7.9%	9.5%	8.4%	2.6%	
経常利益	40	41	81	42	123	27	355%
率	9.3%	8.4%	8.8%	9.9%	9.2%	2.4%	
四半期純利益	33	37	71	27	97	4	—
率	7.8%	7.6%	7.7%	6.3%	7.3%	0.4%	

売上高と営業利益の推移(四半期毎)

【単位:億円】



【百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

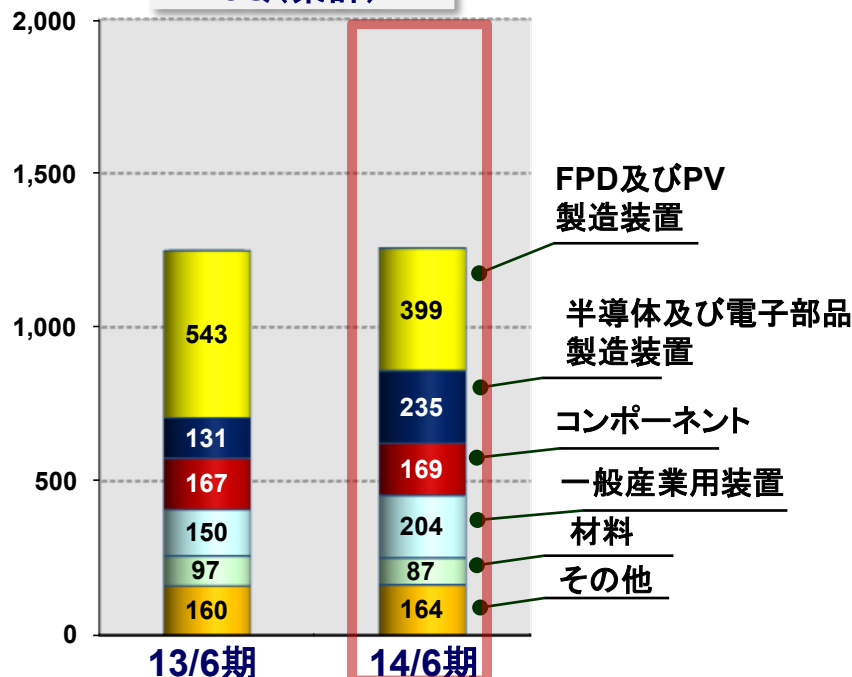
## 品目別受注高の実績

3Q(累計)の受注高は、

- ・メモリや高機能電子デバイス関連の半導体及び電子部品製造装置
- ・自動車関連の一般産業用装置
- それぞれ前年同期比で増加。
- ・FPD及びPV製造装置は前年同期比で減少。

【単位:億円】

3Q(累計)



【単位:億円】

13/6期 3Q(累計)		
セグメント	受注高	構成比
真空機器事業	991	79%
FPD及びPV製造装置	543	43%
半導体及び電子部品製造装置	131	10%
コンポーネント	167	13%
一般産業用装置	150	12%
真空応用事業	257	21%
材料	97	8%
その他	160	13%
<b>合計</b>	<b>1,249</b>	<b>100%</b>

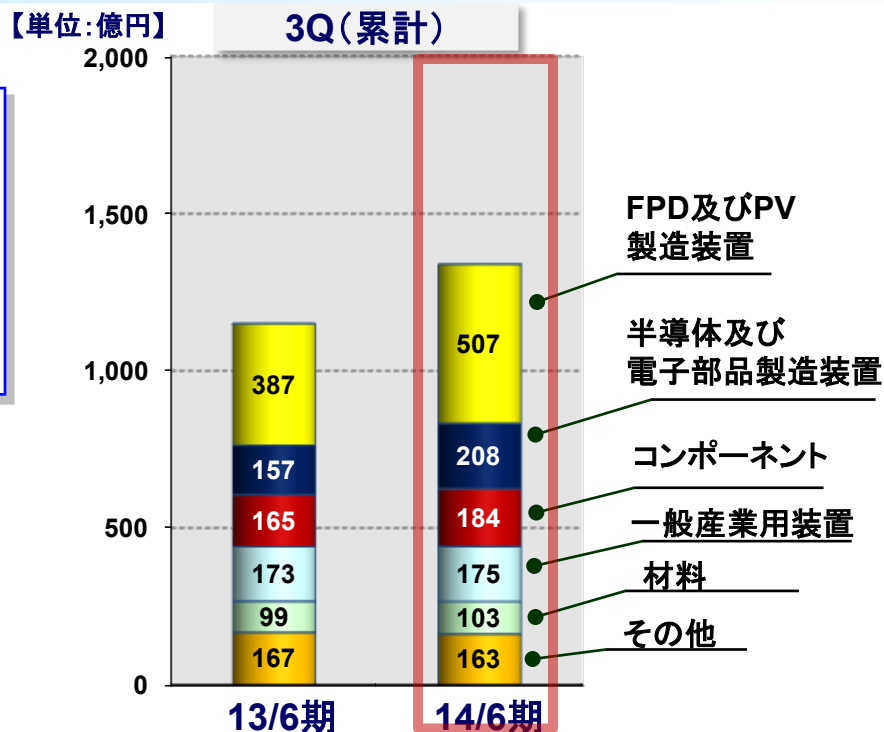
14/6期 3Q(累計)			前年同期比(増減)
セグメント	受注高	構成比	
真空機器事業	1,007	80%	2%
FPD及びPV製造装置	399	32%	-27%
半導体及び電子部品製造装置	235	19%	80%
コンポーネント	169	13%	1%
一般産業用装置	204	16%	35%
真空応用事業	251	20%	-3%
材料	87	7%	-10%
その他	164	13%	2%
<b>合計</b>	<b>1,257</b>	<b>100%</b>	<b>1%</b>

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

# 2014/6期3Q(累計)実績

## 品目別売上高の実績

3Q(累計)の売上高は、昨年度下期の受注好調によりFPD及びPV製造装置が前年同期比で増加。また、メモリや高性能電子デバイス関連の半導体及び電子部品製造装置も前年同期比で増加。



【単位:億円】

13/6期 3Q(累計)		
セグメント	売上高	構成比
真空機器事業	883	77%
FPD及びPV製造装置	387	34%
半導体及び電子部品製造装置	157	14%
コンポーネント	165	14%
一般産業用装置	173	15%
真空応用事業	267	23%
材料	99	9%
その他	167	15%
<b>合計</b>	<b>1,150</b>	<b>100%</b>

14/6期 3Q(累計)			前年同期比(増減)
セグメント	売上高	構成比	
真空機器事業	1,073	80%	22%
FPD及びPV製造装置	507	38%	31%
半導体及び電子部品製造装置	208	16%	32%
コンポーネント	184	14%	11%
一般産業用装置	175	13%	1%
真空応用事業	266	20%	0%
材料	103	8%	4%
その他	163	12%	-3%
<b>合計</b>	<b>1,339</b>	<b>100%</b>	<b>16%</b>

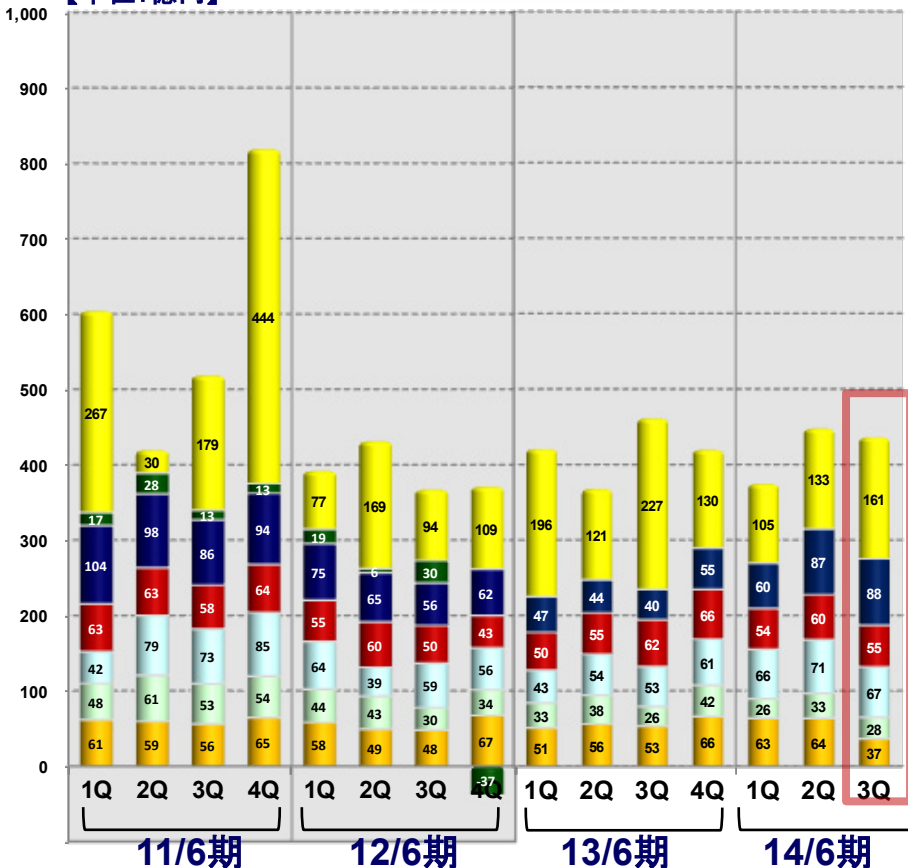
【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

# 品目別受注高・売上高(四半期)の推移

受注高は、FPD関連が前Q比で増加。半導体及び電子部品製造装置は、前Q比横ばいで堅調。  
 売上高は、1QでFPD関連の受注が低調だった影響を受け、前Q比で減少。

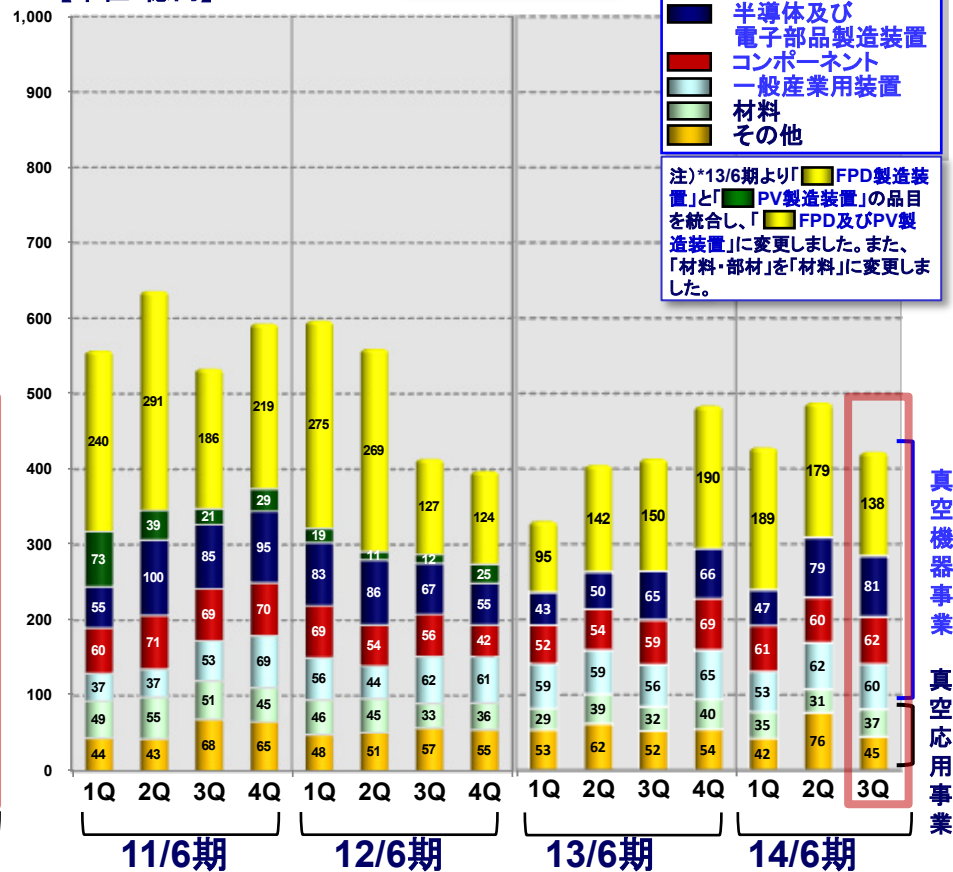
## 受注高

【単位:億円】



## 売上高

【単位:億円】



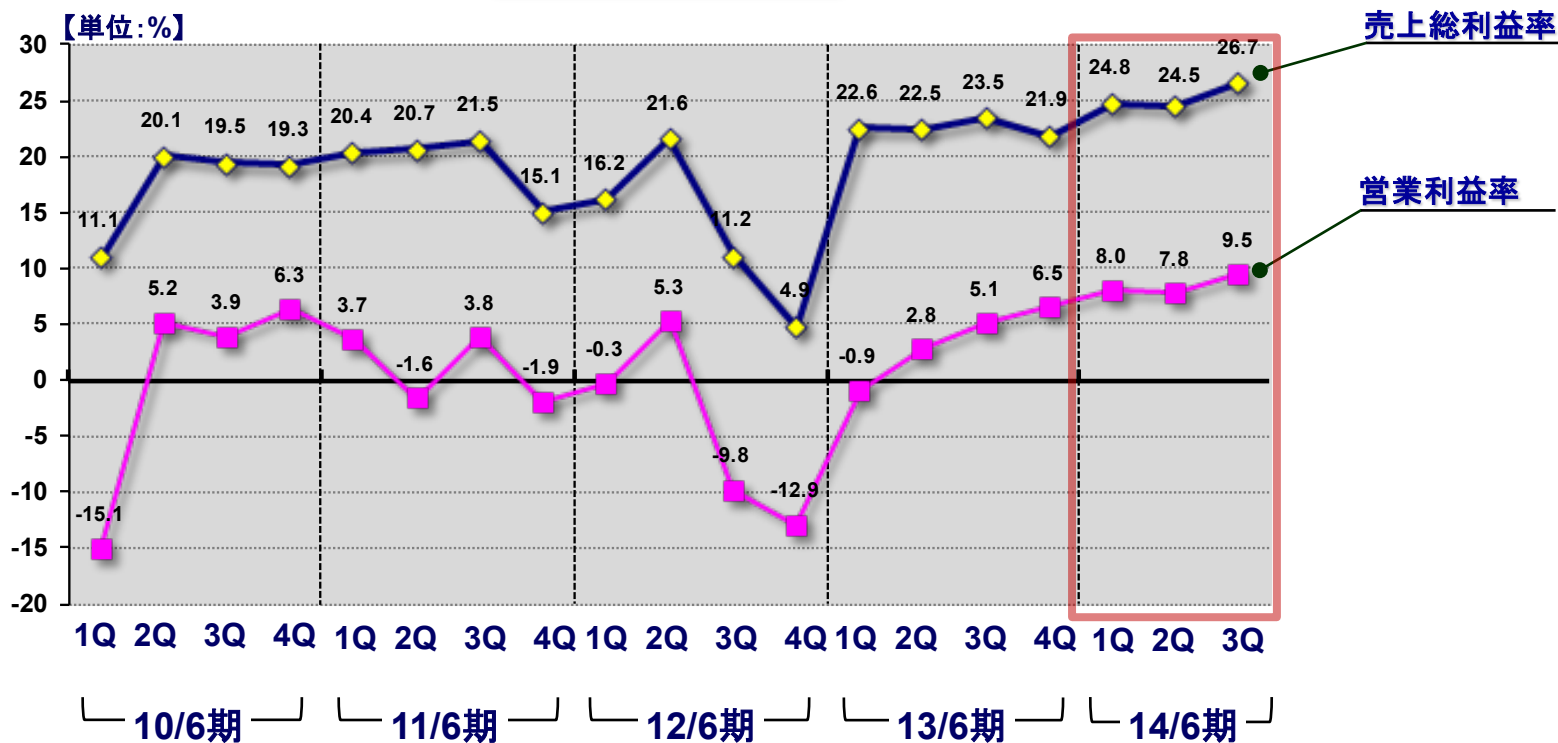
FPD及びPV製造装置\*  
 半導体及び電子部品製造装置  
 コンポーネント  
 一般産業用装置  
 材料  
 その他  
 注)\*13/6期より「FPD製造装置」と「PV製造装置」の品目を統合し、「FPD及びPV製造装置」に変更しました。また、「材料・部材」を「材料」に変更しました。

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

# 利益率(四半期)の推移

売上総利益率、営業利益率とも前年同期比、前四半期比で改善。

四半期ベース



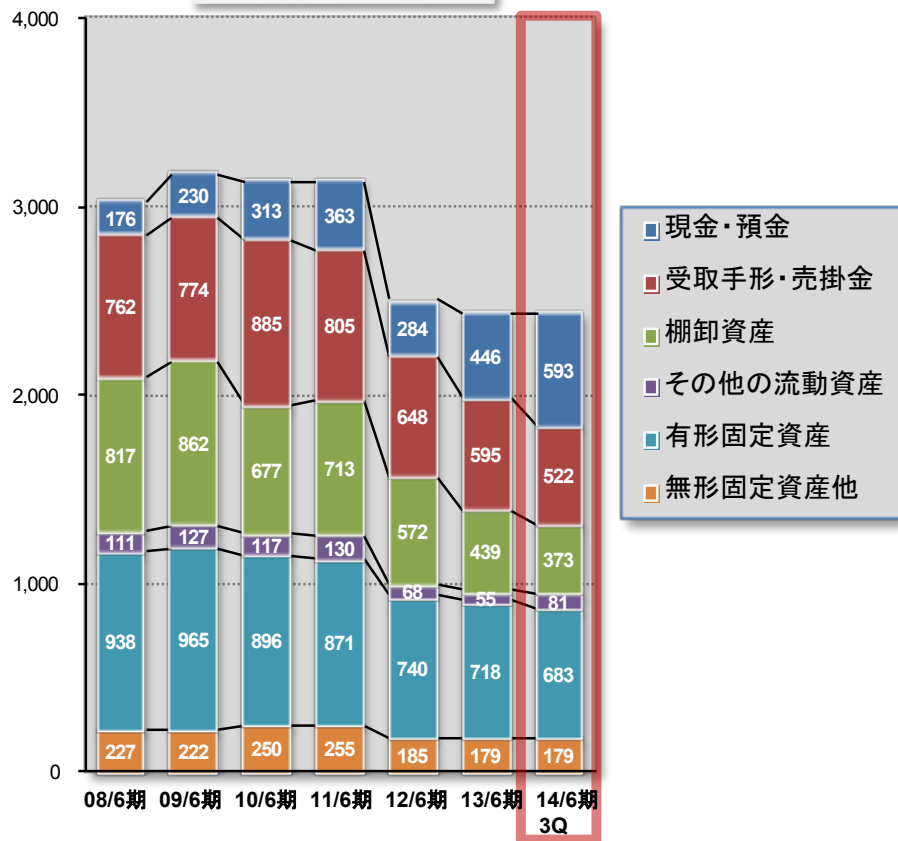
【小数点以下第2位は四捨五入】

## 連結貸借対照表

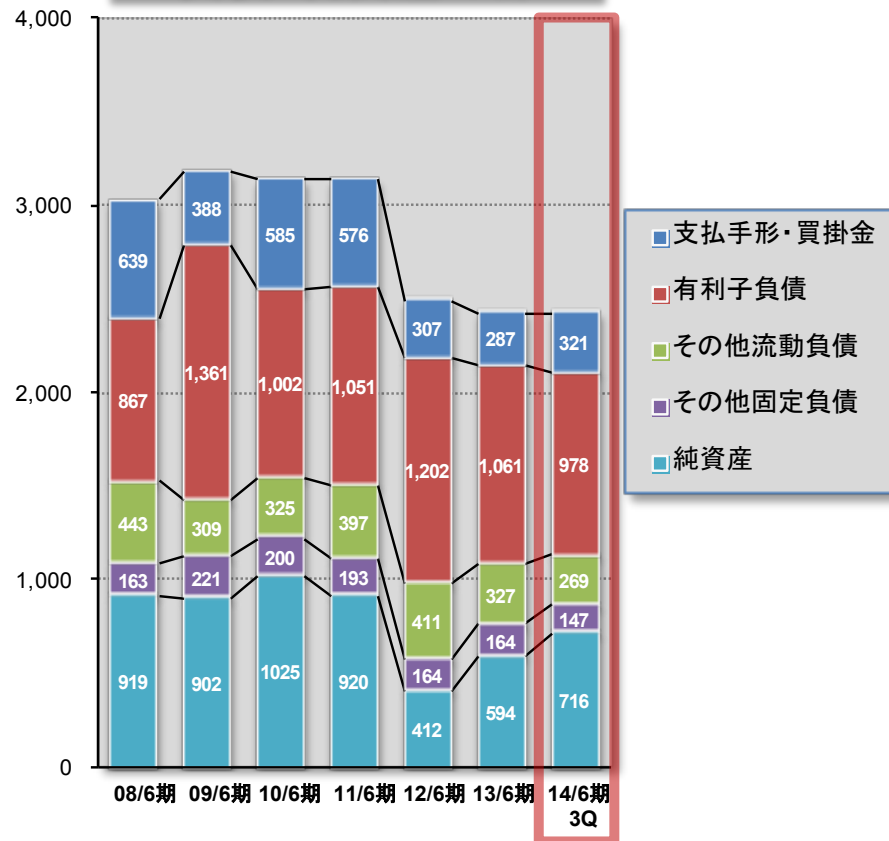
前期末と比べ資産は、現金及び預金が147億円増加。受取手形及び売掛金が73億円、たな卸資産が66億円、有形固定資産が35億円それぞれ減少。負債は、有利子負債(長・短)が83億円減少。純資産は、121億円増加。

【単位:億円】

### 資産の部



### 負債・純資産の部

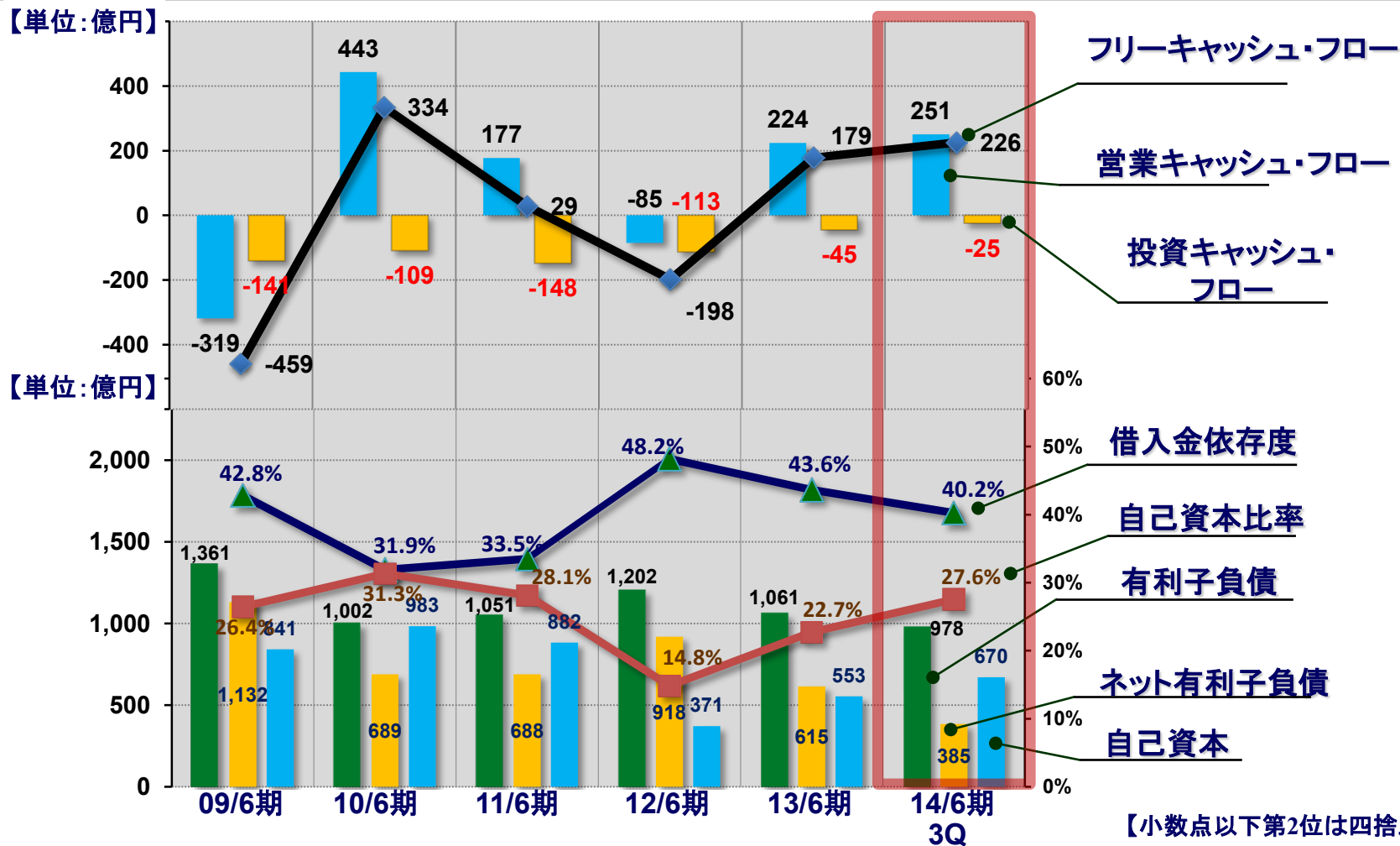


【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】



## キャッシュ・フローと有利子負債の実績

税引前四半期純利益の計上や運転資金圧縮等で営業CFは251億円のプラス、投資CFは子会社株式の売却収入もあり25億円のマイナスに留まり、FCFは226億円のプラスとなった。ネット有利子負債は385億円にまで減少。



【小数点以下第2位は四捨五入】

## 2014/6期業績予想

売上高はFPD製造装置関連を中心に上期弱含みだった受注に回復の動きがでてきているものの、想定比遅延していること等を考慮し下方修正。

営業利益、経常利益、当期純利益は、売上高予想の修正の影響が第4四半期に一時的に強く表れると見込まれるものの、第3四半期累計の実績等を踏まえ上方修正。

【単位:億円】

	(参考) 2013/6期 実績	3Q(累計) 実績	2014/6期	
			通期	
			前回予想	修正予想
受注高	1,668	1,257	1,800	1,700 (+2%)
受注残高	725	635		667
売上高	1,634	1,339	1,800	1,750 (+7%)
営業利益	61	112	90	115 (+88%)
率	3.7%	8.4%	5.0%	6.6%
経常利益	63	123	90	125 (+100%)
率	3.8%	9.2%	5.0%	7.1%
当期純利益	-38	97	75	100 —

【( )内は前年同期比、増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

## 2014年6月期(通期)まとめ

### ■ 当社を取り巻く今後の市場環境

#### ■ エレクトロニクス(半導体、FPD、電子部品)

- ◆ モバイル端末市場が堅調なことと急速に進むサーバ需要の増加に支えられ、一時的な調整はあるもののメモリ・ロジックとも堅調を維持。
- ◆ モバイル端末機器の高性能化や小型化により高機能電子デバイス(MEMS、高密度実装、薄膜電池など)が堅調。
- ◆ 液晶テレビ市場は、停滞が続くが、4K への移行が進む。中小型LTPS液晶は、モバイル端末用として堅調を維持し、さらに高精細化へ移行。
- ◆ 有機EL(OLED)は、歩留まりなどコスト面に課題が残り、TVの量産投資に慎重な動き。中小型は、フレキシブルディスプレイの検討が始まる。

#### ■ 自動車

- ◆ エコカー販売が好調なこと等自動車業界全体が活況で自動車関連部品(モーター用高性能磁石、パワー半導体、エンジン部品など)の需要が増加。

#### ■ 医薬、食品

- ◆ 高齢化や健康意識の高まりで医療・健康食品のニーズが堅調。

真空テクノロジーで /  
「つくる」をつくる、アルバック

ULVAC